

職務経歴書

2023年7月18日

氏名： 東田 雅宏 (ヒガシダ マサヒロ)

生年月日： 1962年3月31日

現所属： 合同会社カモス 代表社員
〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 2953-1
Tel&Fax: 048-628-9223 E-mail: mashiro@chamos.biz

1986年	東京理科大学工学部情報科学科卒業
1986年	パナファコム株式会社 入社 (1987年 株式会社PFUに社名変更)
1986年 ～ 1993年	<ul style="list-style-type: none">●ボルツマンマシンによる自然言語理解システムの研究●要求仕様定義ツール PWB(Prototyper's WorkBench) 研究開発 メタ ERA、Hypertext 技術研究開発：商品化 製品名 Prototyper(ActiveBook)●SDA(Software Designer's Associates)産学国際共同プロジェクト、研究員 オブジェクト指向ソフトウェア開発(OOSD)方法論の研究 オブジェクト管理、OOSDプロセス、OOSDにおける協調作業支援
1987年 ～	<ul style="list-style-type: none">●SEA(ソフトウェア技術者協会)の活動に参画 ・フォーラム、ワークショップ等で、講演、講師、パネリストとして参画 ・ソフトウェア・シンポジウム 2000,2002-2008年プログラム委員 (2003年はプログラム委員長)として参画
1993～ 1995年	●北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)へ企業派遣留学 1995/3 博士課程前期修了 オブジェクト指向パターン研究
1996年 ～ 1998年	<ul style="list-style-type: none">●オブジェクト指向メタアーキテクチャ研究●生涯教育向け経営学習シミュレーションシステム研究開発●IPA 先端的情報化推進基盤整備事業、内田洋行、ハワイ大学と共同研究、研究員 「現実のビジネスをコンピュータにマッピングする技術」研究開発
1998年 ～ 2000年	<ul style="list-style-type: none">●SIPOO プロジェクト(FJ SDEM, PFU SES の運用支援ツールの開発)●TAO 公募プロジェクト「ギガネットを利用した知識の創生とオンデマンド学習 支援システムの開発」研究開発、研究員 「智のネットワーク」プロジェクト 開発アドバイザー
2001～ 2003年	石川県地域結集型共同研究事業「次世代型脳機能計測・診断支援技術の開発」 研究員 サブテーマ「医用ナレッジ・ハンドリング技術の開発」研究開発
2003年 ～ 2007年	<ul style="list-style-type: none">●「技法実践室」プロジェクト 社内 SE の実プロジェクトへの Software 技術実践プログラムの開発・実施 2005～ SE 新人研修企画・講座開発・講義 講師 2006/8 社内技術教育・コンサル・実践の場として SEsalon 開設 室長
2007年	株式会社PFU 退社
2007年 ～現在	<ul style="list-style-type: none">●ソフトウェア技術の研究開発及び、技術支援・導入コンサルティング●ソフトウェア技術教育-講座開発・講義実施(LEGO mindstorm を用いた OO 開発 プロジェクト実習、Springboot ベース Web サービス開発体験学習、astah*で学ぶ UML 演習、OOD/OOP のための Java 入門、ER モデル・TM モデルに基づく RDB 入門他) ※大手コンピューターメーカーからユーザ企業情報システム部まで講義実績あり
2009年 ～現在	<ul style="list-style-type: none">●2009/1/9 合同会社カモス 設立 代表社員●情報システムの要求分析、設計、開発

	<ul style="list-style-type: none"> ●システム開発環境構築・導入・運営(CI, github, Redmine, etc.) ●FLOSS 開発(povastah: astah*プラグイン) ●システム開発プロジェクトのテクニカルマネージメント及び PM ●実績 <ul style="list-style-type: none"> 医療用医薬品市販直後調査の分析・設計・実装・エンハンス・メンテナンス 製薬会社統合販売管理システムの分析・設計・実装 上記システムの開発チーム教育、開発環境構築(開発者、IDE、HW)、開発プロセス適用、テクニカルマネージメント
--	--

実践しているテーマ

1. オブジェクト指向分析設計方法論
2. ソフトウェア技術者教育
3. ソフトウェア開発環境(CI、IDE、github、仮想化:VMWare、Docker)
4. 論理と表現(モデリング、フォーマリズム、プログラミング、自然言語、CG)
5. コミュニケーションとコンセンサス

技術・資格等

技術： ソフトウェア工学、オブジェクト指向全般、プログラミング全般、3DCG
最終学歴： 北陸先端科学技術大学院大学(JAIST) 修士 専攻:情報科学 取得年:1995年

論文

- 1991年, PFUテクニカルレビュー, Vol.2, No.1, p.47,
「ソフトウェア要求支援定義ツール PWB」, 加藤康人, 東田雅宏, 他
- 1992年, SDAシンポジウム成果報告書, 「Smalltalk80環境での協調作業支援」, 東田雅宏
- 1993年, ソフトウェアシンポジウム'93論文集, P.130, 「オブジェクト指向ソフトウェア開発における協調-Satisfactory Consensus Level-」, 東田雅宏
- 1995年, オブジェクト指向シンポジウム'95論文集, 「参照関係を利用したオブジェクト指向パターンの自動抽出法」, 東田雅宏
- 1995年, 「オブジェクトモデリング」ジャストシステム, 落水浩一郎, 東田雅宏著
※1998改訂新版 アジソン・ウェスレイ・パブリッシャーズ・ジャパン
- 1998年, PFUテクニカルレビュー, Vol.9, No.1, p.48, 「シミュレーションを用いた経営学習システム」, 東田雅宏, 他
- 1998年, IPA成果報告発表論文集, 「現実のビジネスをコンピュータにマッピングする技術」, 東田雅宏, 他
- 1999年, PFUテクニカルレビュー, Vol.11, No.1, p.67, 「リフレクションを利用したCORBAアプリケーション開発環境」, 藤枝和宏, 東田雅宏
- 2000年, TAO成果報告発表論文集, 「ギガネットを利用した知識の創生とオンデマンド学習支援システムの開発」, 落水浩一郎, 東田雅宏, 他
- 2000年, ソフトウェアシンポジウム2000論文集, p.16, 「VEDICI分散コンポーネントを用いたアプリケーション構築基盤の開発」, 東田雅宏, 他
- 2001年, PFUテクニカルレビュー, Vol.12, No.1, p.50, 「分散オブジェクト統合アプリケーション基盤-オンデマンド遠隔学習システム-」, 東田雅宏, 他
- 2002年, 電気学会情報システム研究会, 「データフュージョンメディアータの分散オブジェクト化」, 東田雅宏, 吉田武稔

所属団体

- IEEE Computer Society
- ACM
- JSAI

以上